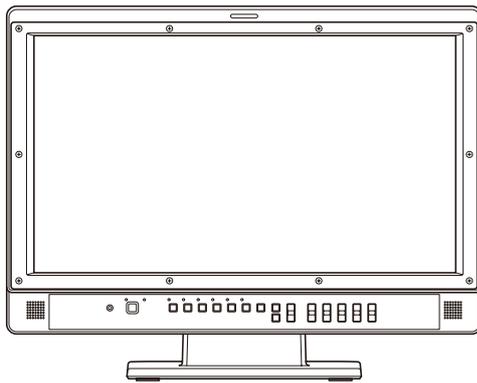


取扱説明書

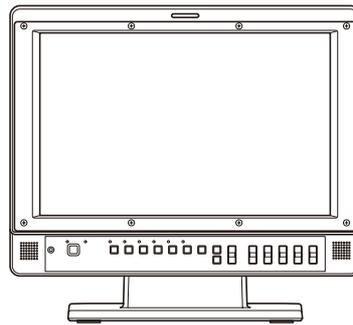
LCD ビデオモニター

品番 **BT-L2150**

品番 **BT-L1500**



BT-L2150



BT-L1500



このたびは、“パナソニック製品”をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に「安全上のご注意」（3～5ページ）を必ずお読みください。
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

保証書別添付

製造番号は、品質管理上重要なものです。製品本体と保証書の製造番号をお確かめください。

本書について

- 本書では、BT-L2150/1500 を「本機」と表記します。
- 本書に記載されているイラスト、説明図などはイメージであり、実際の表示と差がある場合がございます。
- HDMI、HDMI ロゴ、および High-Definition Multimedia Interface は、米国およびその他の国における HDMI Licensing LLC の商標または、登録商標です。
- 本書では、参照ページを (→ 00 ページ) のように示しています。

もくじ

本書について	2	MARKER の種類	16
安全上のご注意	3	VIDEO CONFIG	17
使用上のご注意	5	SYSTEM CONFIG	18
運搬上のご注意	6	GPI	18
概要	6	INPUT SELECT	18
付属品	6	AUDIO	20
寸法図	7	DISPLAY SETUP	20
各部の名称と機能	8	CONTROL	20
ビデオモニター本体	8	HOURS METER	21
前面パネル	9	REMOTE 仕様	22
後面パネル	10	GPI 端子	22
電源	11	保護パネルの取り外し、取り付け	22
電源コードの接続と固定	11	取り外し	22
モニターの角度調整	11	取り付け	22
オンスクリーンメニューの操作	12	チルトスタンドの取り外し、取り付け	23
入力信号のステータス	12	取り外し	23
画像調整ボタン / 音量調整ボタンの状態	12	取り付け	23
シャープネス表示	12	保守点検について	23
メニュー表示	13	保証とアフターサービス	24
CLOSED CAPTION 表示 (CC)	13	修理を依頼される時	24
メニュー操作	14	お手入れについて	24
メインメニュー	15	定格	25
メニュー構成	15	さくいん	27
MARKER	15		

安全上のご注意 (必ずお守りください)

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

 警告	「死亡や重症を負うおそれがある内容」です。
 注意	「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

 してはいけない内容です。
 実行しなければならない内容です。

警告

異常、故障時には直ちに使用を中止する



- **異常があったときは、電源プラグを抜く**
[内部に金属や水などの液体、異物が入ったとき、落下などで外装ケースが破損したとき、煙や異臭、異音などが出たとき]
(そのまま使うと、火災や感電の原因になります。)
⇒ 本機を電源コンセントの近くに設置し、電源プラグに簡単に手が届くようにしてください。
⇒ 本機を電源から完全に遮断するには、電源プラグを抜く必要があります。
⇒ お買い上げの販売店にご相談ください。
- **電源プラグは、根元まで確実に差し込む**
(差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。)
⇒ 傷んだプラグやゆるんだコンセントのまま使用しないでください。
- **電源プラグのほこりなどは、定期的にとる**
(ショートや発熱により、火災や感電の原因になります。)
⇒ 半年に1度はプラグを抜いて、乾いた布で拭いてください。
- **機器がぬれたり、水が入らないようにする**
(火災や感電の原因になります。)
⇒ 雨天・降雪・海岸・水辺での使用は、特にご注意ください。
- **付属品は、指定の製品を使用する**
(本体に誤って指定外の製品を使用すると、火災や事故を起こす原因になります。)

 警告(つづき)	
	<p>■ 電源コード・プラグが破損するようなことはしない [傷つける、加工する、高温部や熱機器具に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重いものを載せる、束ねるなど] (傷んだまま使用すると、火災・感電・ショートの原因になります。) ⇒ 痛んだ場合は交換を依頼してください。 ⇒ 電源コードやプラグの修理は、お買い上げの販売店にご相談ください。</p>
	<p>■ 付属の電源コードは、本機以外の機器では使用しない (付属の電源コードを本機以外の機器で使用すると、発熱により、感電・火災の原因になることがあります。)</p>
	<p>■ コンセントや配線機器の定格を超えて使用しない (火災や感電の原因になります。)</p>
	<p>■ 表示された電源電圧以外は使用しない (火災や感電の原因になります。)</p>
	<p>■ 内部に金属物を入れたり、水などの液体をかけたりぬらしたりしない (ショートや発熱により、火災・感電・故障の原因になります。) ⇒ 機器の上や近くに液体の入った花瓶などの容器や金属物を置かないでください。</p>
	<p>■ チルトスタンド取付ねじ、保護パネル取付ねじは、乳幼児の手の届くところに置かない (誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。) ⇒ 万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。</p>
	<p>■ 不安定な場所に置かない (落ちたり、倒れたりして、けがの原因になります。)</p>
	<p>■ 天井や、壁面などの高所へは取り付けない (落下すると、けがの原因となります。)</p>
 接触禁止	<p>■ 雷が鳴り出したら、本機の金属部や電源プラグに触れない (落雷すると、感電につながります。)</p>
 分解禁止	<p>■ 分解や改造をしない (内部には電圧の高い部分があり、感電や火災の原因になります。また、使用機器を損傷することがあります。) ⇒ 内部の点検や修理などは、お買い上げの販売店にご相談ください。</p>
 水場使用禁止	<p>■ 水場で使用しない (火災や感電の原因になります。)</p>
 ぬれ手禁止	<p>■ ぬれた手で電源プラグやコネクターに触れない (感電の原因になります。)</p>

⚠ 注意

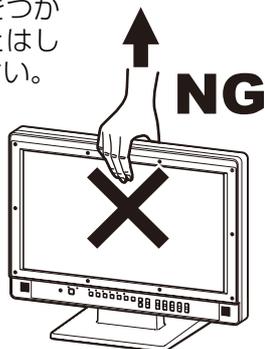
	<p>■ 移動させる場合は、POWER スイッチを切り、プラグを抜き、外部の接続コードを外す (コードが傷つき、火災や感電の原因になります。)</p>
	<p>■ 1年に1度程度は、販売店に内部の掃除の相談をしてください (本機の内部にほこりがたまったまま、使用すると、火災や故障の原因になります。)</p>
 電源プラグ を抜く	<p>■ 長期間使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜く (火災や感電の原因になります。)</p>
	<p>■ お手入れの際は、POWER スイッチを切り、電源(プラグ)を抜く (火災や感電の原因になります。)</p>
	<p>■ 本機の放熱を妨げない [押し入れや本箱など狭いところに入れない、テーブルクロスを掛けたりじゅうたんや布団の上に置かない、横倒し、逆さま、あお向けにしない] (内部に熱がこもり、火災の原因になります。)</p>
	<p>■ 油煙や湯気の当たるところ、湿気やほこりの多いところに置かない (電気が油や水分、ほこりを伝わり、火災の原因になることがあります。)</p>
	<p>■ 直射日光の当たる場所や異常に温度が高くなる場所に置かない (特に真夏の車内、車のトランクの中は、想像以上に高温(約60℃以上)になります。絶対に放置しないでください。外装ケースや内部部品が劣化するほか、火災の原因になることがあります。)</p>
	<p>■ プラグやコネクターを抜くときは、コードを引っ張らない (コードが傷つき、火災や感電の原因になります。) ⇒ 必ずプラグやコネクターを持って抜いてください。</p>
	<p>■ ヘッドホン使用時は音量を上げすぎない (ヘッドホンから大きな音量で聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。)</p>

使用上のご注意

- 液晶モニターのパネルについて有効画素の99.99%以上の高精度管理をしていますが、0.01%以下の画素欠けや常時点灯するものがあります。これは故障ではなく、記録された映像に何ら影響を与えるものではありません。
- 保護パネルは、固い布で拭いたり強くこすったりすると、表面に傷が付く原因となります。
- 長時間静止画像を映したままにしておくと、一時的な残像(焼き付き)が発生する場合があります。(なお、残像は通常の動画をしばらく表示すれば解消されます。)
- 液晶の応答速度や輝度は環境温度によって変化します。
- 本機を直射日光にさらされた場所に取り付けしないでください。キャビネットの劣化や、液晶画面の損傷のおそれがあります。
- 狭いところで使用すると、内部に熱がこもり正常に機能しなくなる場合があります。設置するときは、まわりに十分な空間を取ってください。
- 液晶表示部に強い光が照射されると特性が劣化し、表示品位低下の要因となりますのでご注意ください。
- 温度変化の急激な環境では、液晶表面および内部に結露が発生することがあります。表示品位の低下および故障の原因となりますのでご注意ください。
- 表示映像によっては、画面にムラが発生する場合があります。
- 本機を温度や湿度の高いところに長時間放置すると、液晶パネルの特性が劣化し、ムラの原因となります。
- 画面と周囲のベゼル(枠)のすき間を覗き込むと、線状の光が見える場合がありますが、故障ではありません。
- 持ち運び時にLCDパネルへ傷が付くのを防ぐために、前面に保護パネルが取り付けられています。ご使用時に、傷や映り込みなどが気になるようであれば、外してご使用ください。
- 本機はDVI-Dに対応していません。DVI-D対応機器とHDMIケーブルで接続すると、他の機器のDVI-Dが正しく動作しないことがありますのでご注意ください。

運搬上のご注意

液晶パネルをつかむようなことはしないでください。



故障の原因となりますので、必ず立てた状態で運搬してください。



液晶パネルを強く押ししたり、先のとがったもので押ししたりしないでください。特に、運搬時にはご注意ください。液晶パネルに強い力が加わると、画面表示にムラが生じ、故障の原因になります。

概要

BT-L2150 は 21.5 型ワイド液晶パネルを、BT-L1500 は 15.4 型ワイド液晶パネルを搭載した、放送業務用モニターです。

■ 高性能液晶パネル

優れた色再現、広視野角、高速応答を可能にします。

■ マルチフォーマット対応

- SDI (HD/SD 対応)、VIDEO、YPbPr、HDMI (HDCP 対応)、PC 入力を装備します。
- NTSC/PAL 両テレビ方式に対応しています。

■ 多彩な機能

● マーカー機能

アスペクト設定 16:9、4:3 のそれぞれに、アスペクトマーカー、セーフエリアマーカー、センターマーカーなど多彩なマーカー表示ができます。

● 色温度切り替え機能

色温度 6,500 K、9,300 K に対応しています。
また、任意の色温度でホワイトバランス調整が可能です。

● ブルーオンリー機能

映像信号の赤と緑の信号をカットして表示する機能です。

● オーディオ確認機能

SDI 信号に重畳されているオーディオ信号、HDMI 信号に重畳されているオーディオ信号、あるいは AUDIO IN 端子のオーディオ信号を、スピーカーあるいはヘッドホンで確認できます。

● タリールンプ

フロントにタリールンプ (赤色 / 緑色 / 橙色) を装備。
外部リモート操作で、各色の点灯の制御が可能です。

● クローズド・キャプション機能

VIDEO (NTSC) 入力時に映像信号に付加された字幕を表示できます。(EIA-608 準拠)

● 外部リモート対応

GPI (D-SUB 9 ピン) のリモート入力端子を備え、外部からの操作が可能です。

● チルトスタンド

チルト機能の付いたモニタースタンドを標準装備しています。
前後にチルトできますので、視認しやすい角度に調整してご使用ください。

付属品

電源コード × 1

※以下の付属品は本体に取付け済みです

保護パネル × 1

保護パネル取付ねじ × 10 (BT-L2150)

保護パネル取付ねじ × 8 (BT-L1500)

チルトスタンド × 1

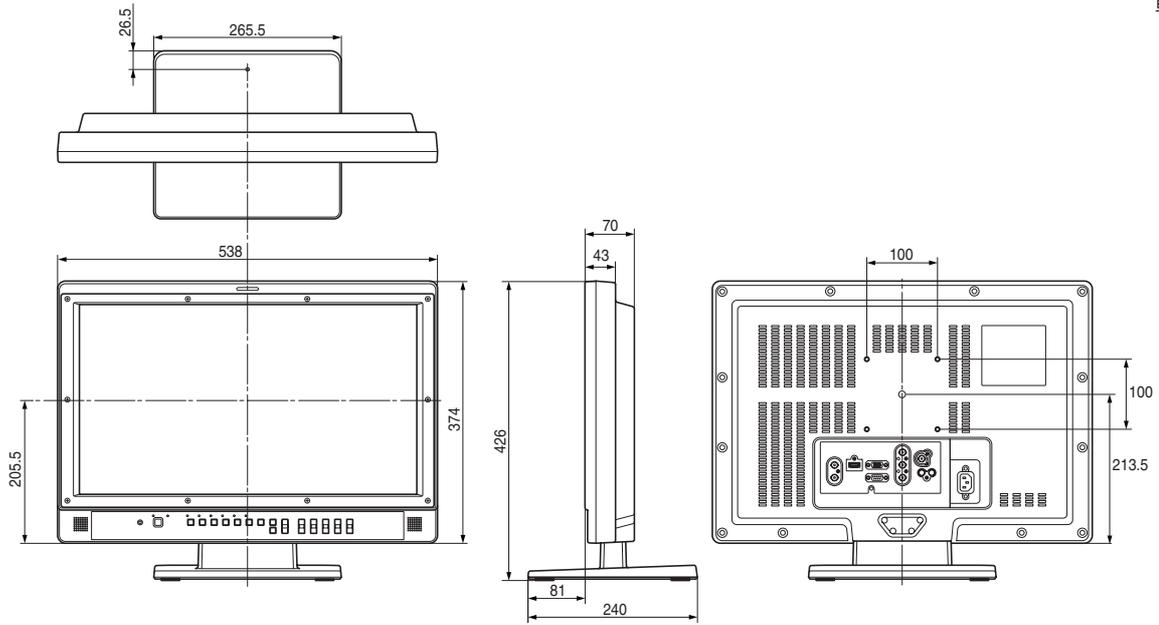
チルトスタンド取付ねじ × 4

- 電源コードキャップおよび包装材料は商品を取り出したあと、適切に処理をしてください。

寸法図

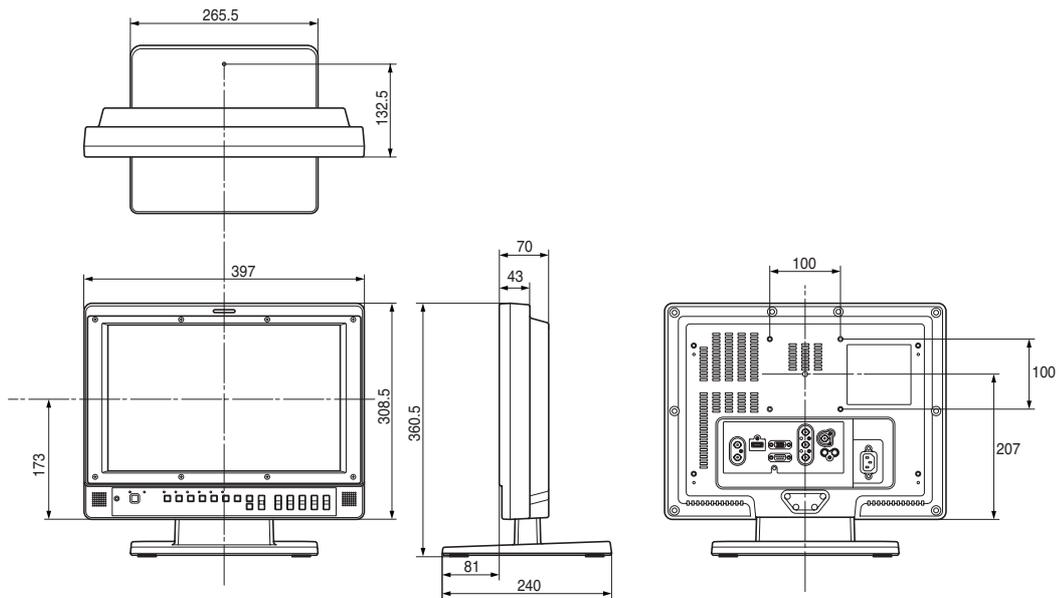
■ BT-L2150

単位：mm



■ BT-L1500

単位：mm

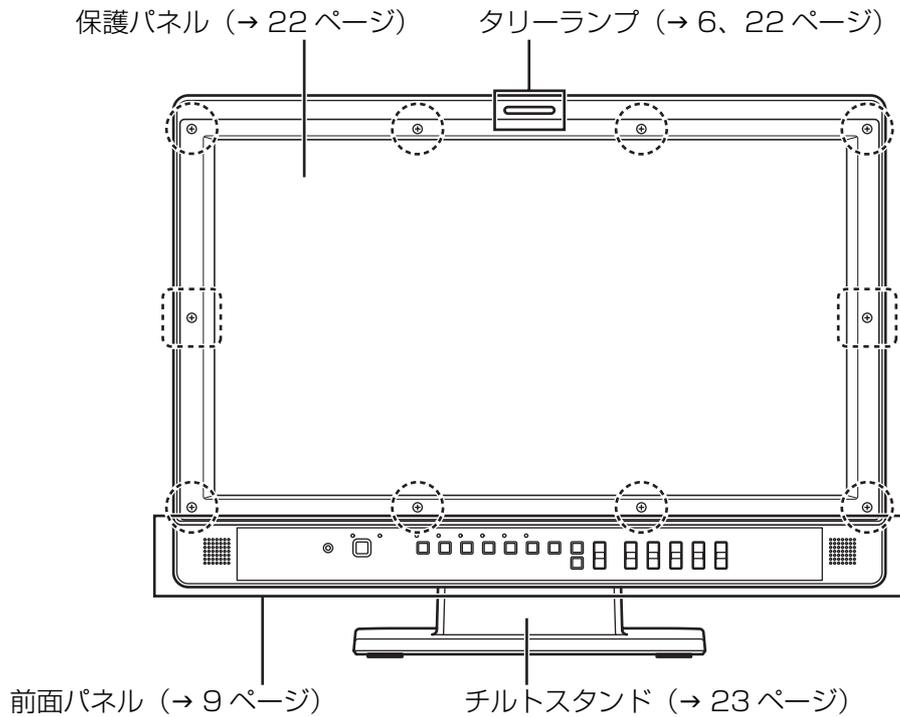


各部の名称と機能

ビデオモニター本体

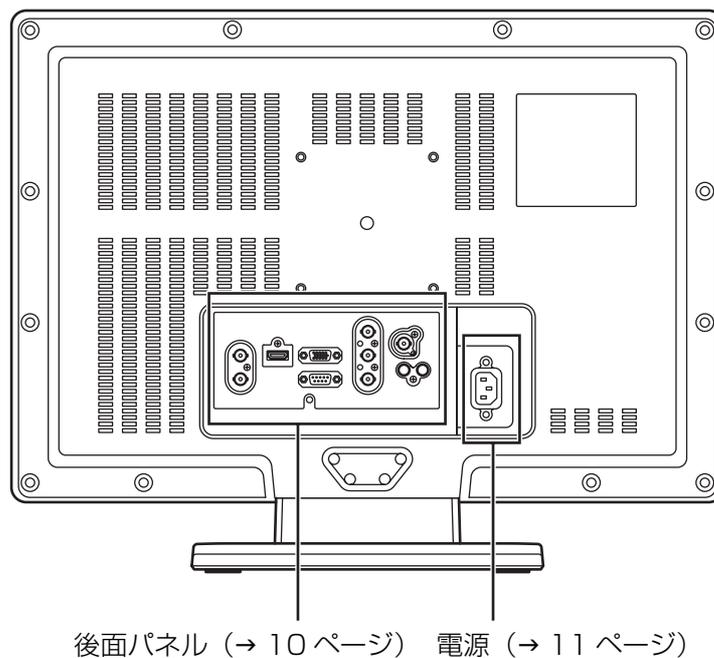
※図は BT-L2150 の例です。

前面



○□ は、保護パネル取付ねじ (BT-L2150: 10 本、BT-L1500: 8 本)
□ は、BT-L2150 のみ (BT-L1500 にはありません)

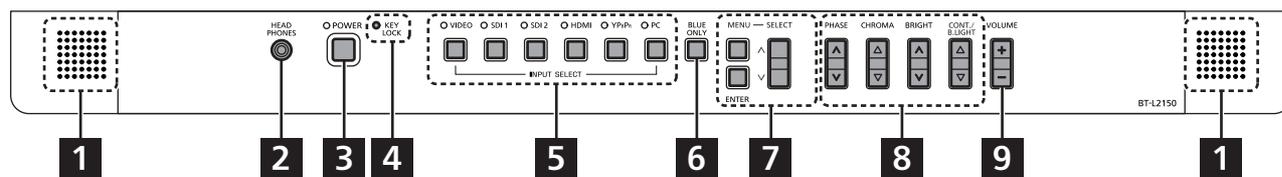
後面



各部の名称と機能 (つづき)

前面パネル

※図は BT-L2150 の例です。



1 スピーカー

AUDIO IN 端子、SDI IN 端子 (エンベディドオーディオ)、HDMI 端子 (エンベディドオーディオ) から入力した音声が出ます。

※ HEAD PHONES 出力端子にヘッドホンが接続されている場合は音は出ません。

2 HEAD PHONES 出力端子

(ステレオミニジャック M3)

ヘッドホンを接続して音声を確認できます。

※ヘッドホンにより音量、音質は異なります。
ヘッドホン使用時はスピーカーから音は出ません。

3 POWER スイッチ

電源を ON/OFF します。電源 ON 時にランプ (緑) が点灯します。

電源を切るには、スイッチを約 3 秒以上押ししてください。

4 KEY LOCK ランプ

前面パネルでの操作禁止 (KEY LOCK) 設定時に、赤色点灯します。

5 INPUT SELECT ボタン

信号の入力ラインを選択します。押されたボタンの入力ラインが選択され、上部のランプ (緑) が点灯します。

VIDEO : ビデオ入力

SDI1 : シリアルデジタルインターフェース入力 (HD/SD 対応)

SDI2 : シリアルデジタルインターフェース入力 (HD/SD 対応)

HDMI : HDMI 入力 (HDCP 対応)

YPbPr : アナログコンポーネント (YPbPr) 入力

PC : PC 入力

6 BLUE ONLY ボタン

映像信号の赤と緑の信号をカットして表示します。

7 MENU ボタン

メニューの表示、設定の選択・調整とメニューで選択された項目を実行します。

MENU : メニューを表示する / メニューから抜ける、または 1 つ前のメニュー画面に戻るときに押します。

▲ : カーソルの上方向への移動と項目を選択します。

▼ : カーソルの下方向への移動と項目を選択します。

ENTER : 設定を確定します。

8 画像調整ボタン

PHASE 0 ~ 60(30)

CHROMA 0 ~ 60(30)

BRIGHT 0 ~ 60(30)

CONT./B.LIGHT

CONT. 0 ~ 60(50)

B.LIGHT 0 ~ 60(60)

() : 工場出荷時の値

ボタンを押すと、メニュー設定の表示・調整ができます。

▲△ : 調整する値が大きくなります。

▼▽ : 調整する値が小さくなります。

ただし、下記の場合は操作変更できません。

※コントロールロック (KEY LOCK 設定が ON) 時は 設定値の変更はできません。

※「PC」入力時は、[PHASE] と [CHROMA] の操作は無効となります。

9 音量調整ボタン

VOLUME 0 ~ 100(0)

() : 工場出荷時の値

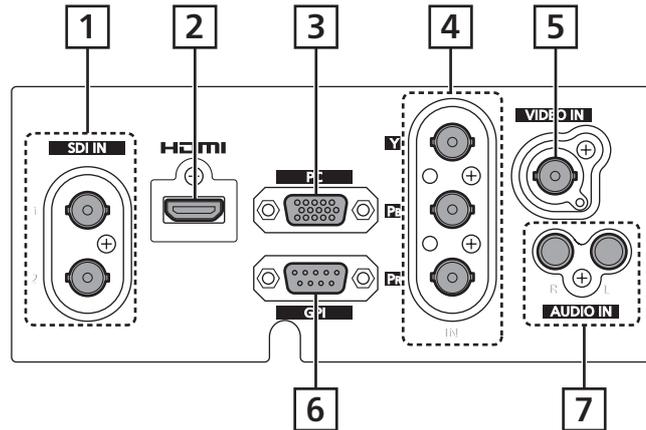
ボタンを押すと、スピーカー音量、ヘッドホン音量を調整することができます。

+ : 音量が大きくなります。

- : 音量が小さくなります。

各部の名称と機能 (つづき)

後面パネル



1 SDI IN (HD/SD) 端子 (BNC)

1 : SDI 入力端子です (HD/SD 自動切り替え対応)。
2 : SDI 入力端子です (HD/SD 自動切り替え対応)。
※ エンベディドオーディオ対応です。

2 HDMI 端子

HDCP 対応 HDMI 信号入力端子です。
※ エンベディドオーディオ対応です。ビエラリンク非対応です。

3 PC 端子

PC の RGB 信号接続時の入力端子です。

4 YPbPr IN 端子 (BNC)

YPbPr 信号入力端子です。

5 VIDEO IN 端子 (BNC)

VIDEO 信号 (コンポジット信号) 入力端子です。

6 GPI 端子 (D-SUB 9 ピン)

GPI 信号により外部操作が可能です。

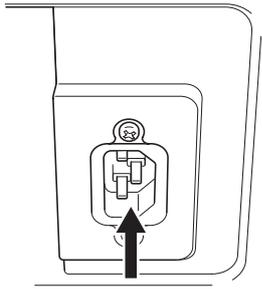
7 AUDIO IN 端子 (ピンジャック)

すべての映像入力端子に対する共通のアナログ音声入力端子です。

電源

電源コードの接続と固定

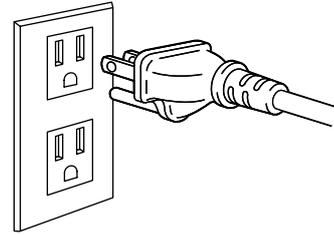
1. 本機に電源コードを取り付ける。



電源コード

2. 電源コードをコンセントに接続する。

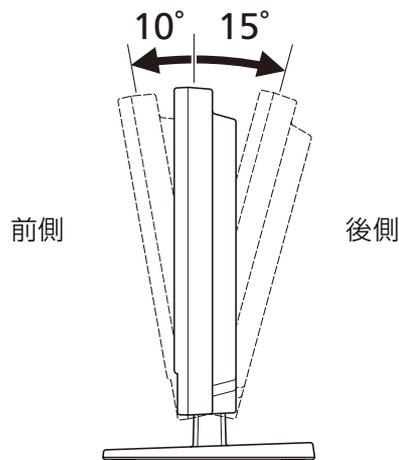
- 本機に付属の電源コードは、接地端子を備えた 3 ピンのコンセントに接続してください。



海外で使用する場合は、その国に合った接地端子付電源コードを準備してください。

モニターの角度調整

本機を矢印の方向に動かして、視認しやすい角度に調整してください。

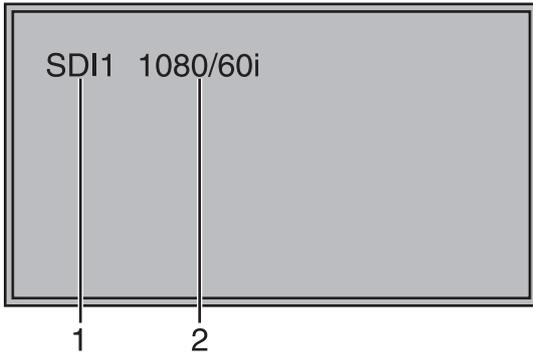


- 角度調整範囲は、前方 10 度、後方 15 度です。

オンスクリーンメニューの操作

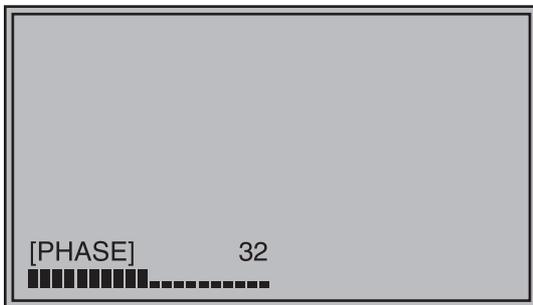
画面に、入力信号のステータス、画像調整ボタン / 音量調整ボタンの状態、シャープネス表示、メニュー表示、CLOSED CAPTION 表示の 5 種類の情報を表示します。

入力信号のステータス



1. 選択されている入力ライン (→ 9 ページ、**5**)
 - VIDEO、SDI1、SDI2、HDMI、YPbPr、PC
2. 信号フォーマット
 - 「SYSTEM CONFIG」メニューの「STATUS DISPLAY」で表示状態を設定できます (→ 18 ページ)。
 - 「UNSUPPORT SIGNAL」が表示されたときは、サポートされていない信号が入力されています。
 - 「NO SIGNAL」が表示されたときは、信号が入力されていません。

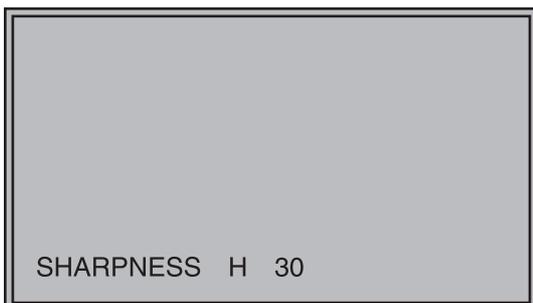
画像調整ボタン / 音量調整ボタンの状態



- 画像調整ボタン (→ 9 ページ、**8**)
音量調整ボタン (→ 9 ページ、**9**)
- ボタンを押すと状態が表示されます。約 10 秒間操作が行われなかったときは、表示が消えます。
 - 表示中は、設定を調節できますが、表示が消えているときは、設定を調節できません。
 - 表示位置は固定です。
 - 本機は電源 ON 時に設定値を読み込みます。設定変更後、約 10 秒経過すると設定値を保存します。

状態表示：
PHASE、CHROMA、BRIGHT、CONTRAST、または BACKLIGHT および VOLUME

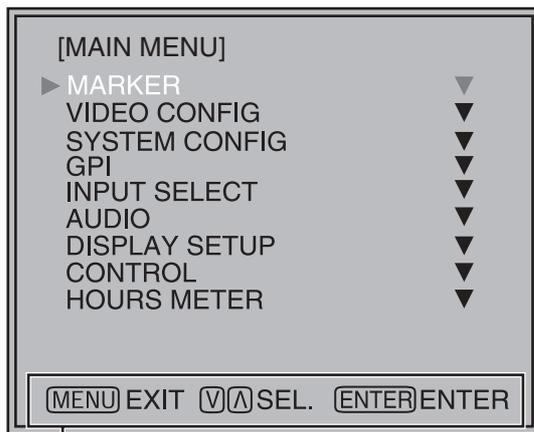
シャープネス表示



- 「VIDEO CONFIG」メニューの「SHARPNESS H」設定時に表示されます。
- 約 2 分間操作が行われなかったときは表示が消えます。

オンスクリーンメニューの操作 (つづき)

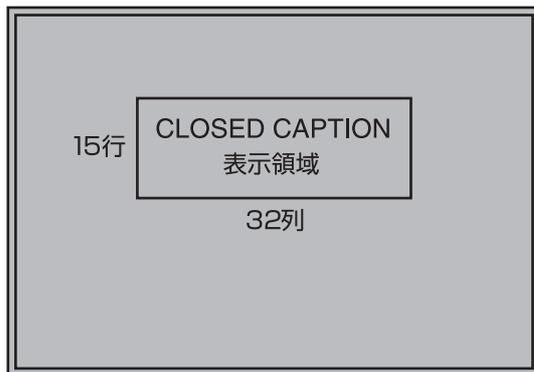
メニュー表示



メニューボタンの操作説明が表示されます。

- メニュー操作時に表示されます。
- 約 2 分間操作が行われなかったときは表示が消えます。

CLOSED CAPTION 表示 (CC)

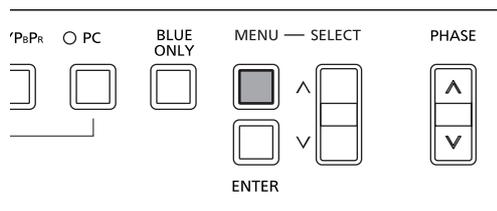


- VIDEO (NTSC) 信号のとき、メニューで表示設定ができます。また、CAPTION CHANNEL (CC1 ~ 4) をメニューで選択ができます。
- 「CLOSED CAPTION」が「ON」に設定されている場合のビデオ入力では、マーカー表示、ステータス表示はできません。

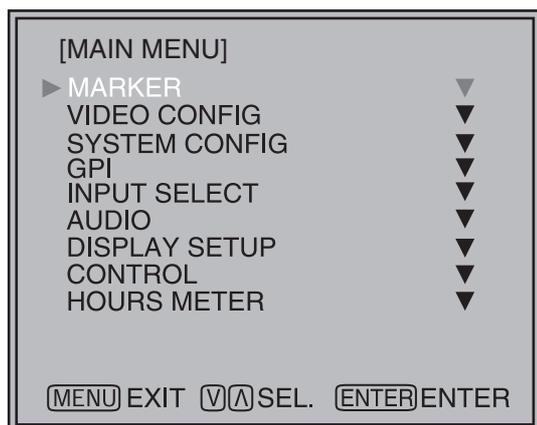
オンスクリーンメニューの操作 (つづき)

メニュー操作

1. [MENU] を押して MAIN MENU を表示する。

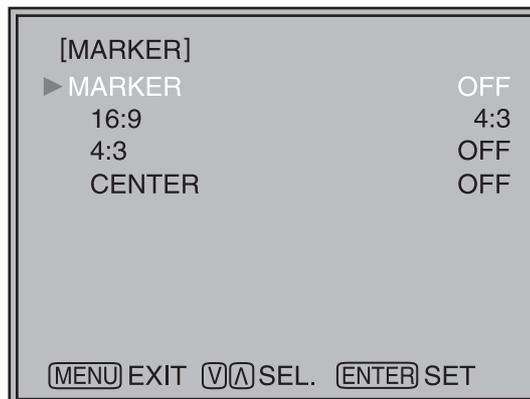


2. [V、^] を押してメニューを選び、[ENTER] を押す。



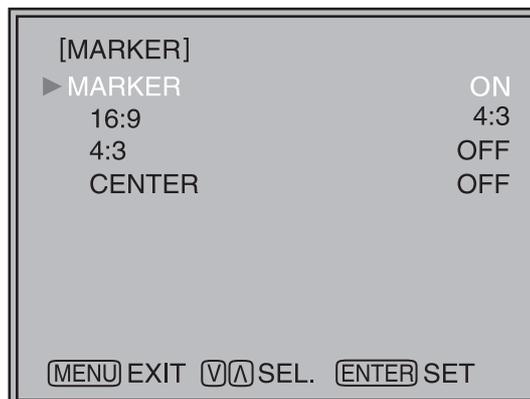
3. [V、^] を押してサブメニューを選び、[ENTER] を押す。

サブメニューの設定値が緑に変わります。



4. [V、^] を押して設定値を選び、[ENTER] を押す。

キャンセルするには [MENU] を押します。



1 つ前の画面に戻るには
[MENU] を押す

メインメニュー (つづき)

MARKERの種類

■ 16:9用マーカー

(HD時、およびアスペクト16:9のSD時に表示)

アスペクトマーカーは縦線のみ、表示されます。

■は、MARKER仕様の説明のためにグレーにしていますが、実際の画面はグレーにはなりません。



4:3アスペクトマーカー

セーフエリアマーカー

点線がセーフエリアマーカーとして表示されます。



93%セーフエリアマーカー



88%セーフエリアマーカー



80%セーフエリアマーカー

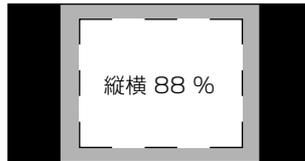
■ 4:3用マーカー

(アスペクト4:3のSD時に表示)

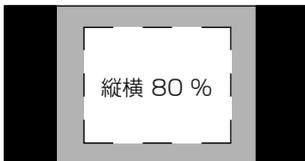
点線がセーフエリアマーカーとして表示されます。



93%セーフエリアマーカー

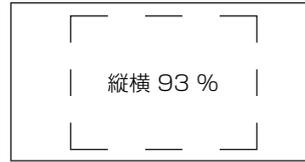


88%セーフエリアマーカー

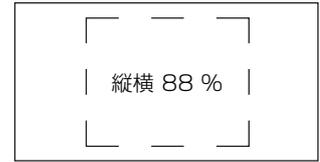


80%セーフエリアマーカー

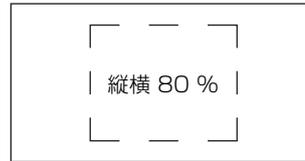
(HD時、およびアスペクト16:9のSD時に表示)
点線がセーフエリアマーカーとして表示されます。



93%セーフエリアマーカー



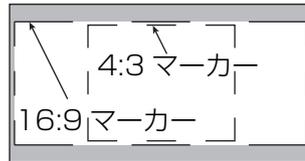
88%セーフエリアマーカー



80%セーフエリアマーカー

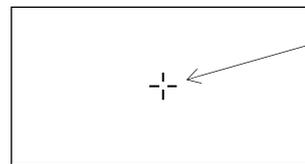
※ 16:9用のマーカーと同時に表示することが可能です。
同時表示の例

■は、MARKER仕様の説明のためにグレーにしていますが、実際の画面はグレーにはなりません。



16:9用マーカー：
93%セーフエリアマーカー
4:3用マーカー：
80%セーフエリアマーカー

■ センターマーカー



センターマーカー
画像の中心に表示されます。

メインメニュー (つづき)

VIDEO CONFIG

下線が工場出荷時の設定です。

サブメニュー	設定	説明
GAMMA SELECT *1	2.2 <u>2.35</u>	ガンマカーブを選びます。 <2.2> ガンマ 2.2 のカーブを選択します。 <2.35> ガンマ 2.35 のカーブを選択します。 (CRT 表示に近づけた設定です。)
COLOR TEMP.	D93 <u>D65</u> VAR1*3 VAR2*3	色温度を選びます。 <D93> 色温度 9,300 K 相当 <VAR1> WB 調整モード <D65> 色温度 6,500 K 相当 <VAR2> WB 調整モード
SHARPNESS MODE *1	HIGH*2 LOW	輪郭補正のエッジの幅を選びます。 <HIGH> 細いエッジ <LOW> 太いエッジ
SHARPNESS H *1	0 ~ 30 *2	水平方向の輪郭補正值を設定します。調整時、項目表示が画面下部に移動します。
SD ASPECT *1	<u>4:3</u> 16:9	SD 信号入力時にアスペクト設定をします。 <4:3> 4:3 表示 <16:9> 16:9 表示

*1 「INPUT SELECT」メニュー (→18 ページ) の「PC」選択時は、動作しません。

*2 シャープネス値は、

- ①VIDEO 系入力 (VIDEO) (工場出荷時の設定は SHARPNESS MODE : LOW、SHARPNESS H : 0)
 - ②VIDEO 系以外の入力の HD (工場出荷時の設定は SHARPNESS MODE : HIGH、SHARPNESS H : 0)
 - ③VIDEO 系以外の入力の SD (工場出荷時の設定は SHARPNESS MODE : LOW、SHARPNESS H : 0)
- の値をそれぞれ設定でき、そのうち選択中の入力信号の設定値を表示します。選択時は、右下に調整状態を表示します。

*3 「VAR1」、「VAR2」を選ばると WB 調整モードに入ります (→ 下記)。

■ WB 調整モード

「VIDEO CONFIG」メニューの「COLOR TEMP.」で「VAR1」～「VAR2」を選ばると、「WHITE BALANCE VAR1」～「WHITE BALANCE VAR2」(WB) の調整ができます。

下線が工場出荷時の設定です。

サブメニュー	設定	説明
COLOR TEMP. *4	D93 <u>D65</u>	調整の元となる色温度を選びます。 <D93> 色温度 9,300 K 相当 <D65> 色温度 6,500 K 相当
GAIN RED *5	0 ~ 1023 (工場出荷時の設定値は色温度 <D65> の値) ※工場出荷時の調整値が設定されません。	RED の GAIN 成分を調整します。
GAIN GREEN *5		GREEN の GAIN 成分を調整します。
GAIN BLUE *5		BLUE の GAIN 成分を調整します。
BIAS RED *5	- 512 ~ 511 (工場出荷時の設定 : 0)	RED の BIAS 成分を調整します。
BIAS GREEN *5		GREEN の BIAS 成分を調整します。
BIAS BLUE *5		BLUE の BIAS 成分を調整します。
RESET		「GAIN RED」～「BIAS BLUE」を「COLOR TEMP.」で選択した色温度の値にリセットします。

*4 「COLOR TEMP.」を選択し、項目を変え [ENTER] を押すと確認画面に変わります。このとき、「YES」を選択して、[ENTER] を押すと選択中の GAIN 値や BIAS 値は選択した色温度の値にリセットされます。

*5 調整時、項目表示が画面下部に移動します。

メインメニュー (つづき)

SYSTEM CONFIG

下線が工場出荷時の設定です。

サブメニュー	設定	説明
CONT./BACK.	<u>B</u> ACKLIGHT CONTRAST	画像調整ボタンの [CONT./B.LIGHT] に割り当てる機能を選択します。 <BACKLIGHT> B.LIGHT (バックライト) の調整ができます。 <CONTRAST> CONT. (コントラスト) の調整ができます。
BACKLIGHT	0 ~ <u>60</u>	液晶のバックライトの明るさを調整します。使用環境に合わせて調整してください。
STATUS DISPLAY	CONTINUE <u>3</u> SEC OFF OFF	入力信号ステータス (オンスクリーンメニュー) の表示状態を設定します。 <CONTINUE> 常時表示します。 <3SEC OFF> 状態変更後、約 3 秒間表示して消えます。 <OFF> 表示されません。
SETUP LOAD	<u>F</u> ACTORY	保存されている工場出荷設定値 (FACTORY) を読み込みます。
COLOR SPACE	SMPTE-C <u>E</u> BU ITU-709*1	スタジオ規格の色合いを設定します。
POWER DOWN	<u>O</u> FF ON	信号が無入力で、一定時間操作がない場合に、電源をオフ (パワーダウン) するかどうかを設定します。 <OFF> パワーダウンしません。 <ON> パワーダウンします。

*1 ITU-709 は ITU-R BT.709 の規格です。

GPI

「GPI CONTROL」項目で GPI 機能全体の有効 / 無効を設定します。

下線が工場出荷時の設定です。

サブメニュー	設定	説明
GPI CONTROL	<u>D</u> ISABLE ENABLE	GPI 機能の有効無効設定 <DISABLE> 無効 <ENABLE> 有効

INPUT SELECT

下線が工場出荷時の設定です。

サブメニュー	設定	説明
NTSC SETUP	75 <u>00</u>	NTSC のセットアップレベルを選択します。 <75> 7.5 % セットアップ付信号時に選択します。(モニター内部で 7.5 % セットアップレベルを黒レベルに合わせています) <00> セットアップなし信号時に選択します。
PC	▼	アナログ PC 設定を行います。(「PC」→19 ページ)

メインメニュー (つづき)

■ PC

入力信号に、PC を選択していると、以下のメニューに切り換わります。

下線が工場出荷時の設定です。

サブメニュー	設定	説明
AUTO SETUP *1		入力信号に、PC を選択したときに、画面自動調整を行います。別画面が表示され、「YES」を選ぶと「AUTO SETUP」を実行します。
H-POSITION *2	0 ~ 60 (工場出荷時の設定 : 30)	水平方向の画像表示位置を調整します。
V-POSITION *2	0 ~ 60 (工場出荷時の設定 : 30)	垂直方向の画像表示位置を調整します。
PHASE *2	0 ~ 31 (工場出荷時の設定 : 16)	クロック位相を 1/32 クロック周期で調整します。
CLOCK *2	<BT-L2150> 700 ~ 2200 <BT-L1500> 700 ~ 1800 (工場出荷時の設定 *3)	サンプリングクロックをドット単位で調整します。
WXGA/XGA	XGA WXGA	WXGA/XGA を切り替えます。
RESET		PC 入力対応フォーマットの H-POSITION、V-POSITION、PHASE、CLOCK 設定を工場出荷時の設定に戻します。

*1 「AUTO SETUP」実行中は、「EXECUTING」、また、完了時は「COMPLETE」と表示されます。

その他の表示情報として、完了できなかった場合は、「INCOMPLETE」と表示されます。

入力画像によっては画面自動調整が不十分な場合があります。この場合は H-POSITION、V-POSITION、PHASE、CLOCK を調整してください。

*2 入力対応フォーマットごとに調整できます。

*3 「CLOCK」の工場出荷時の設定値

フォーマット	CLOCK	フォーマット	CLOCK
640 × 400(70 Hz)	800	1024 × 768(70 Hz)	1328
640 × 480(60 Hz)	800	1024 × 768(75 Hz)	1312
640 × 480(75 Hz)	840	1280 × 768(60 Hz)	1664
800 × 600(60 Hz)	1056	1280 × 800(60 Hz)	1680
800 × 600(75 Hz)	1056	1280 × 1024(60 Hz)	1688*4
1024 × 768(60 Hz)	1344		

*4 BT-L2150 に適用

メインメニュー (つづき)

AUDIO

スピーカー、ヘッドホン出力を設定します。

下線が工場出荷時の設定です。

サブメニュー	設定	説明
INPUT SELECT	<u>AUTO</u> ANALOG	スピーカー、ヘッドホン出力を選択します。 <AUTO> 前面パネルの [INPUT SELECT] ボタンで SDI 入力ライン選択時： エンベディドオーディオ (SDI IN 端子) 前面パネルの [INPUT SELECT] ボタンで HDMI 入力ライン選択時： エンベディドオーディオ (HDMI 端子) 前面パネルの [INPUT SELECT] ボタンで SDI、HDMI 以外の入力ライン選択時： アナログ (AUDIO IN 端子) <ANALOG> アナログ (AUDIO IN 端子)
EMBEDDED SELECT^{*1}	CH7・CH8 CH5・CH6 CH3・CH4 <u>CH1・CH2</u>	スピーカー、ヘッドホンに出力するエンベディドオーディオの音声 CH の選択をします。 <CH7・CH8> CH7 を L に、CH8 を R に出力します。 <CH5・CH6> CH5 を L に、CH6 を R に出力します。 <CH3・CH4> CH3 を L に、CH4 を R に出力します。 <CH1・CH2> CH1 を L に、CH2 を R に出力します。

*1 HDMI 信号を選択時は、CH1 を L に、CH2 を R に出力します。

DISPLAY SETUP

下線が工場出荷時の設定です。

サブメニュー	設定	説明
CLOSED CAPTION^{*2*3}	OFF <u>ON</u>	クローズド・キャプションの表示を有効にします。
CAPTION CHANNEL^{*2}	CC4 CC3 CC2 <u>CC1</u>	クローズド・キャプションの表示チャンネルを選択します。

*2 VIDEO (NTSC) 入力時に設定できます。

*3 「MARKER」が「ON」に設定されたときは、自動的に OFF になります。

CONTROL

下線が工場出荷時の設定です。

サブメニュー	設定	説明
KEY LOCK^{*4}	OFF <u>ON</u>	操作を選択します。(兼コントロールロック) <OFF> 前面パネル操作有効 <ON> POWER スイッチ、MENU ボタン (MENU、V、A、ENTER)、音量調整ボタン以外の前面パネル操作は無効

*4 ロック中のメニュー設定の変更は、「KEY LOCK」項目のみ可能です

ロック中は、画像調整ボタンを操作しても設定値は変わりません。

ロック中は、前面パネルの KEY LOCK ランプが点灯します。

メインメニュー (つづき)

HOURS METER

サブメニュー	設定	説明
OPERATION	XXXXXXh*1	総通電時間を表示します。
LCD	XXXXXXh*1	バックライト点灯時間を表示します。

*1 「XXXXXX」には時間が表示されます。

「XXXXXX」: 175200h (約 20 年)、175200h 以上は「OVER」と表示されます。

■ 設定項目制限一覧表

(○: 設定でき、機能が有効になります、△: 設定できますが、機能は無効です、-: 設定できません)

		VIDEO	SDI 1/2		HDMI			YPbPr		PC
			SD	HD	640 × 480	SD	HD	SD	HD	
MARKER	MARKER	○	○	○	△	○	○	○	○	△
	16:9	○	○	○	△	○	○	○	○	△
	4:3	○	○	○	△	○	○	○	○	△
	CENTER	○	○	○	△	○	○	○	○	△
VIDEO CONFIG	GAMMA SELECT	○	○	○	-	○	○	○	○	-
	COLOR TEMP.	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	SHARPNESS MODE	○	○	○	-	○	○	○	○	-
	SHARPNESS H	○	○	○	-	○	○	○	○	-
	SD ASPECT	○	○	△	-	○	△	○	△	-
INPUT SELECT	NTSC SETUP	○*2	△	△	△	△	△	△	△	△
	PC	-	-	-	-	-	-	-	-	○
AUDIO	INPUT SELECT	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	EMBEDDED SELECT	△	○	○	○	○	○	△	△	△
DISPLAY SETUP	CLOSED CAPTION	○*2	△	△	△	△	△	△	△	△
	CAPTION CHANNEL	○*2	△	△	△	△	△	△	△	△
画像調整	PHASE	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	CHROMA	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	BRIGHT	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	CONT.	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	B.LIGHT	○	○	○	○	○	○	○	○	○

*2 NTSC フォーマット入力時に有効

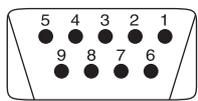
REMOTE 仕様

本機は外部からの REMOTE 操作が可能です。

GPI 端子

GPI 画面の各項目は、以下の端子に対応しています。

各端子に割り当てられた機能は、GND (5Pin) に対してショート (ON) かオープン (OFF) かで設定された動作を行います。



GPI 端子 (9P)

ピン番号	信号
1	GPI1
2	GPI2
3	GPI3
4	GPI4
5	GND
6	GPI5
7	GPI6
8	GPI7
9	GPI8

■ 動作条件

レベル動作：GND に対して、ショートさせている間に動作します。

エッジ動作：GND に対して、オープンからショートさせたときに動作します。

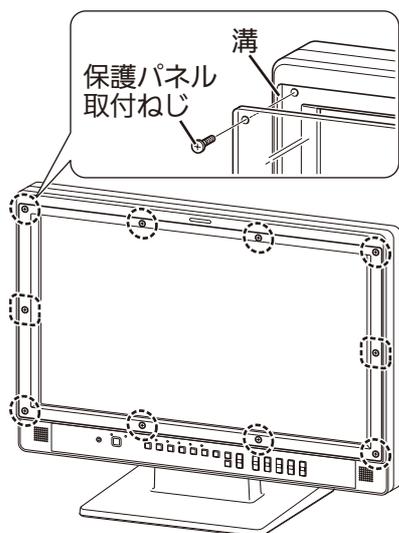
- エッジ動作は、変化後約 0.2 秒以上保持してください。

端子	割り当て項目	機能	動作条件
GPI1	INPUT SEL. VIDEO	入力ラインを VIDEO に切り替えます。	エッジ動作
GPI2	INPUT SEL. SDI1	入力ラインを SDI1 に切り替えます。	エッジ動作
GPI3	INPUT SEL. SDI2	入力ラインを SDI2 に切り替えます。	エッジ動作
GPI4	INPUT SEL. HDMI	入力ラインを HDMI に切り替えます。	エッジ動作
GPI5	INPUT SEL. YPbPr	入力ラインを YPbPr に切り替えます。	エッジ動作
GPI6	INPUT SEL. PC	入力ラインを PC に切り替えます。	エッジ動作
GPI7	R-TALLY*1	赤色タリーランプを点灯させます。	レベル動作 (ショート：ON、オープン：OFF)
GPI8	G-TALLY*1	緑色タリーランプを点灯させます。	レベル動作 (ショート：ON、オープン：OFF)

*1 「R-TALLY」と「G-TALLY」同時に ON になった場合はタリーランプの色は橙色になります。

保護パネルの取り外し、取り付け

本機は、持ち運び時に LCD パネルに傷が付くのを防ぐために、前面に保護パネルが取り付けられています。ご使用時に、傷や映り込みなどが気になるようであれば、外してご使用ください。



※図は、BT-L2150 の例です。

○は、BT-L2150 のみ (BT-L1500 にはありません)

取り外し

1. 保護パネルを手で押さえながら、保護パネル取付ねじ (BT-L2150: 10 本、BT-L1500: 8 本) をプラスドライバーで外す。

2. 保護パネルを取り外す。

- 取り外した保護パネルと保護パネル取付ねじは、大切に保管してください。

取り付け

取り付け前に、保護パネルの上下を確認してから、作業を行ってください。

1. 保護パネルと本体のねじ穴の位置を合わせる。

- 保護パネルを本体の溝にはめてください。

2. プラスドライバーを使って、保護パネルを、保護パネル取付ねじ (BT-L2150: 10 本、BT-L1500: 8 本) で、本体に取り付ける。

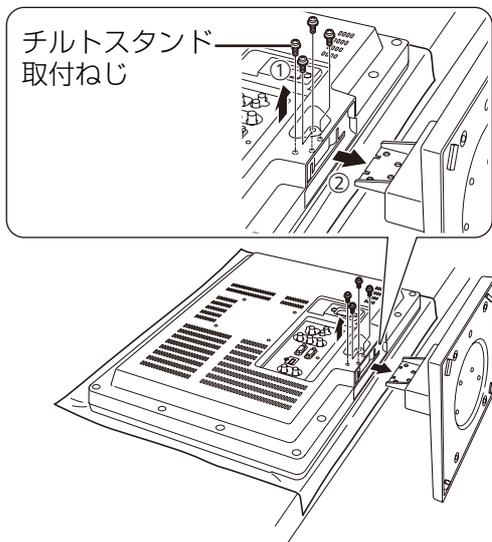
- 保護パネル取付ねじを締め付けすぎると、保護パネルが割れることがあります。(締め付けトルク：30 N・cm 以下を目安として締め付けてください。)

チルトスタンドの取り外し、取り付け

チルトスタンドは、取り外しが可能です。

- 取り外し、取り付けの作業は、机の端などを利用し、やわらかい布などを敷いて、行ってください。

取り外し

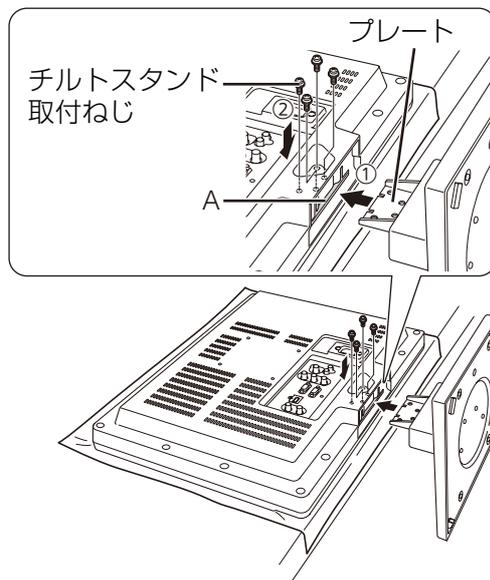


※図は、BT-L2150 の例です。

1. チルトスタンド取付ねじ (4 本) を、プラスドライバーで外す。
2. チルトスタンドを取り外す。

- 取り外したチルトスタンドとチルトスタンド取付ねじは、大切に保管してください。

取り付け



※ 図は、BT-L2150 の例です。

1. チルトスタンドを本体に取り付ける。
 - モニター本体の A 部に、チルトスタンドのプレートを挿し込んでください。
2. プラスドライバーを使って、チルトスタンドと本体を、チルトスタンド取付ねじ (4 本) で固定する。
(締め付けトルク: 100 N・cm 以上を目安として締め付けてください。)

保守点検について

保守点検はお客様が安心して本機をご使用いただくために、定期的に適切な保守整備を行い、その機能を常に良好な状態に維持するためのものです。本機の有する機能を未永く、十分に発揮させるためにも、必ず保守点検を実施していただくようお願い申し上げます。

定期保守サービスの必要性

液晶パネルにはバックライトが使用されています。この部品 (消耗部品) は時間経過につれて劣化し、性能低下や故障の原因になります。

このため、単に従来の故障発生時に行うアフターサービスにとどまらず、総合的サービス、すなわち機器の性能を正常に維持させ、消耗部品などによる突発的な故障を未然に防ぐため、保守サービスを定期的に行うことが非常に大切であると言えます。

保証とアフターサービス

故障・修理・お取扱い・メンテナンス
などのご相談は、まず、
お買い上げの販売店
へ、お申し付けください。

お買い上げの販売店がご不明の場合は、当社（裏表紙）までご連絡ください。
※ 内容により、お近くの窓口をご紹介させていただく場合がございますので、ご了承ください。

■ 保証書（別添付）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ずお確かめの上、お買い上げの販売店からお受け取りください。内容をよくお読みいただいた上、大切に保存してください。万一、保証期間内に故障が生じた場合には、保証書記載内容に基づき、「無料修理」させていただきます。

保証期間：お買い上げ日から本体 1 年間

■ 補修用性能部品の保有期間 **8 年**

当社では、この“LCD ビデオモニター”の補修用性能部品を、製造打ち切り後 8 年間保有しています。
※ 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■ 定期メンテナンス（保守・点検）

定期メンテナンス（保守・点検）は、お客様が安心して機器をご使用いただくために、定期的に必要なメンテナンスを行い、機器の機能を常に良好な状態に維持するためのものです。部品の摩耗、劣化、ゴミ、ほこりの付着などによる突発的な故障、トラブルを未然に防ぐとともに、安定した機能、性能を維持するために、定期メンテナンスのご契約を推奨いたします。

なお、メンテナンス実施の周期、費用につきましては、機器のご使用状況、時間、環境などにより変化します。定期メンテナンス（有料）についての詳しい内容は、お買い上げの販売店にご相談ください。なお、メンテナンス対象部品につきましては、上記の「保守点検について」の項目をご覧ください。

修理を依頼される時

この取扱説明書を再度ご確認ください。お買い上げの販売店までご連絡ください。

■ 保証期間中の修理は...

保証書の記載内容に従って、修理させていただきます。保証書をご覧ください。

■ 保証期間経過後の修理は...

修理により、機能、性能の回復が可能な場合は、ご希望により有料で修理させていただきます。

ご連絡いただきたい内容	
品名	LCD ビデオモニター
品番	BT-L2150 または BT-L1500
製造番号	
お買い上げ日	
故障の状況	

お手入れについて

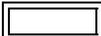
- キャビネットや液晶保護パネル表面の汚れはやわらかい布で軽くふき取ってください。ひどい汚れは、水でうすめた中性洗剤にひたした布を固く絞ってふき取り、乾いた布で仕上げてください。水滴が内部に入ると、故障の原因になります。
- 本機の清掃にベンジン、シンナーなどを使用しないでください。表面が変色したり、塗装が落ちたりするおそれがあります。
- スプレー洗剤などを直接かけないでください。水滴が内部に入ると故障の原因になります。

定格

■ 総合

電源入力

<BT-L2150>	
電源電圧	消費電流
AC : 100 V - 240 V、 50/60 Hz	0.60 A - 0.30 A
<BT-L1500>	
電源電圧	消費電流
AC : 100 V - 240 V、 50/60 Hz	0.50 A - 0.25 A

 は安全項目です。

外形寸法 (幅×高さ×奥行き) :

<BT-L2150>
538 mm × 426 mm × 240 mm
(チルトスタンド含む)
538 mm × 374 mm × 70 mm
(本体のみ、チルトスタンド含まず)

<BT-L1500>
397 mm × 360.5 mm × 240 mm
(チルトスタンド含む)
397 mm × 308.5 mm × 70 mm
(本体のみ、チルトスタンド含まず)

質量 :

<BT-L2150> 約 7.5 kg (チルトスタンド含む)
約 6.0 kg (本体のみ、チルトス
タンド含まず)
<BT-L1500> 約 5.4 kg (チルトスタンド含む)
約 3.9 kg (本体のみ、チルトス
タンド含まず)

動作周囲温度 : 5 °C ~ 35 °C
動作周囲湿度 : 20 % ~ 80 % (結露なきこと)
保存温度 : -20 °C ~ 60 °C

■ ディスプレーパネル

<BT-L2150>
寸法 : 21.5 型 (有効表示部)
アスペクト比 : 16:9
ピクセル数 : 1920 × 1080 (FULL HD)
ディスプレイカラー : 約 1,670 万色
視野角 (コントラスト > 10:1) :
上下 160 度、左右 170 度

<BT-L1500>
寸法 : 15.4 型 (有効表示部)
アスペクト比 : 16:10
ピクセル数 : 1280 × 800 (WXGA)
ディスプレイカラー : 約 1,620 万色
視野角 (コントラスト > 10:1) :
上下 140 度、左右 160 度

■ 入力 / 出力コネクタ部

映像信号入力 :

VIDEO IN 端子 :
1 系統、BNC × 1
YPbPr IN 端子 (アナログコンポーネント) :
1 系統、BNC × 3
SDI IN (HD/SD) 端子 :
SMPTE274M/296M/259M-C/
ITU-R BT.656-4 準拠
2 系統、BNC × 2
HDMI 端子 :

1 系統、HDMI 端子 × 1 (TYPE A)
HDCP 対応、ビエラリンク非対応
PC 端子 : 1 系統、D-SUB、15 ピン × 1
<BT-L2150>

垂直周波数 : 60.0 Hz ~ 75.0 Hz
水平周波数 : 31.5 kHz ~ 64.0 kHz
ドットクロック : 25 MHz ~ 108 MHz
<BT-L1500>

垂直周波数 : 60.0 Hz ~ 75.0 Hz
水平周波数 : 31.5 kHz ~ 60.0 kHz
ドットクロック : 25 MHz ~ 83.5 MHz
HD/VD の信号レベル :
TTL レベル

音声入力 :

SDI IN (HD/SD) 端子 :
EMBEDDED AUDIO 対応
HD - SDI : SMPTE299M 準拠
サンプリングレート : 48 kHz、
synchronous/asynchronous
に対応、8 CH 対応
SD - SDI : SMPTE272M 準拠
サンプリングレート : 48 kHz、
synchronous に対応、
4 CH 対応

HDMI 端子 :

EMBEDDED AUDIO 対応
AUDIO IN 端子 (アナログオーディオ入力) :
ピンジャック × 2 (ステレオ)
入力レベル 0.5 Vrms

スピーカー出力 : 0.5 W + 0.5 W
ヘッドホン出力 : ステレオミニジャック
M3 × 1、32 Ω
レベル可変

GPI 端子 : D-SUB、9 ピン × 1

定格 (つづき)

■ 対応信号フォーマット一覧表 (○: 対応、—: 対応していません)

入力信号	表示文字列	VIDEO	SDI1	SDI2	HDMI	YPbPr	PC
NTSC	NTSC	○	—	—	—	—	—
PAL	PAL	○	—	—	—	—	—
640 × 480/59.94p	640 × 480 (60p)	—	—	—	○	—	—
640×480/60p	640 × 480 (60p)	—	—	—	○	—	—
480/59.94i	480/60i	—	○	○	—	○	—
480/59.94p	480/60p	—	—	—	○	○	—
576/50i	576/50i	—	○	○	—	○	—
576/50p	576/50p	—	—	—	○	○	—
720/50p	720/50p	—	○	○	○	○	—
720/59.94p	720/60p	—	○	○	○	○	—
720/60p	720/60p	—	○	○	○	○	—
1080/23.98PsF	1080/24PsF	—	○	○	—	○	—
1080/24PsF	1080/24PsF	—	○	○	—	○	—
1080/25PsF	1080/50i	—	○	○	—	○	—
1080/23.98p	1080/24p	—	○	○	○	○	—
1080/24p	1080/24p	—	○	○	○	○	—
1080/25p	1080/25p	—	○	○	○	○	—
1080/29.97p	1080/30p	—	○	○	○	○	—
1080/30p	1080/30p	—	○	○	○	○	—
1080/50i	1080/50i	—	○	○	○	○	—
1080/50p	1080/50p	—	—	—	○	○	—
1080/59.94i	1080/60i	—	○	○	○	○	—
1080/60i	1080/60i	—	○	○	○	○	—
1080/59.94p	1080/60p	—	—	—	○	○	—
1080/60p	1080/60p	—	—	—	○	○	—
640 × 400(70 Hz)	640 × 400(70 Hz)	—	—	—	—	—	○
640 × 480(60 Hz)	640 × 480(60 Hz)	—	—	—	—	—	○
640 × 480(75 Hz)	640 × 480(75 Hz)	—	—	—	—	—	○
800 × 600(60 Hz)	800 × 600(60 Hz)	—	—	—	—	—	○
800 × 600(75 Hz)	800 × 600(75 Hz)	—	—	—	—	—	○
1024 × 768(60 Hz)	1024 × 768(60 Hz)	—	—	—	—	—	○
1024 × 768(70 Hz)	1024 × 768(70 Hz)	—	—	—	—	—	○
1024 × 768(75 Hz)	1024 × 768(75 Hz)	—	—	—	—	—	○
1280 × 768(60 Hz)	1280 × 768(60 Hz)	—	—	—	—	—	○
1280 × 800(60 Hz)	1280 × 800(60 Hz)	—	—	—	—	—	○
1280 × 1024(60 Hz)	1280 × 1024(60 Hz)	—	—	—	—	—	○ *1

*1 BT-L1500 は、対応していません。「UNSUPPORT SIGNAL」が表示されます。

この仕様は、性能向上のため変更することがあります。

さくいん

数字			
16:9	15	POWER DOWN	18
4:3	15	POWER スイッチ	9
A		R	
AUDIO	20	REMOTE	22
AUDIO IN 端子	10	RESET	17, 19
AUTO SETUP	19	S	
B		SD ASPECT	17
BACKLIGHT	18	SDI IN (HD/SD) 端子	10
BIAS BLUE	17	SETUP LOAD	18
BIAS GREEN	17	SHARPNESS H	17
BIAS RED	17	SHARPNESS MODE	17
BLUE ONLY ボタン	9	STATUS DISPLAY	18
C		SYSTEM CONFIG	18
CAPTION CHANNEL	20	V	
CENTER	15	VIDEO CONFIG	17
CLOCK	19	VIDEO IN 端子	10
CLOSED CAPTION	13, 20	V-POSITION	19
COLOR SPACE	18	W	
COLOR TEMP	17	WB 調整モード	17
CONT./BACK	18	WXGA/XGA	19
CONTROL	20	Y	
D		YPbPr IN 端子	10
DISPLAY SETUP	20	あ	
E		アスペクトマーカー	16
EMBEDDED SELECT	20	お	
G		音量調整ボタン	9, 12
GAIN BLUE	17	お手入れ	24
GAIN GREEN	17	か	
GAIN RED	17	角度調整	11
GAMMA SELECT	17	画像調整ボタン	9, 12
GPI	18	し	
GPI CONTROL	18	シャープネス	12
GPI 端子	10, 22	す	
H		スピーカー	9
HDMI 端子	10	寸法図	7
HEAD PHONES 出力端子	9	せ	
HOURS METER	21	セーフエリアマーカー	16
H-POSITION	19	センターマーカー	16
I		ち	
INPUT SELECT	18, 20	チルトスタンド	23
INPUT SELECT ボタン	9	て	
K		定格	25
KEY LOCK	20	電源	11
KEY LOCK ランプ	9	に	
L		入力信号	12
LCD	21	ふ	
M		付属品	6
MARKER	15	ほ	
種類	16	保護パネル	22
MENU ボタン	9	保守点検	23
N		ま	
NTSC SETUP	18	マーカー	16
O		め	
OPERATION	21	メニュー	12
P		構成	15
PC 端子	10	操作	14
PHASE	19	表示	13

パナソニック株式会社 AVC ネットワークス社 ビジネスソリューション事業グループ

〒571-8503 大阪府門真市松葉町2番15号 ☎(06)6901-1161